

受益者の皆さまへ

コモンズ投信株式会社

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

【特別レポート】～ 投資は未来を信じる力 ～

○2月28日の各ファンドの基準価額騰落率(前日比)

	基準価額	前日比	騰落率
コモンズ 30 ファンド	26,329 円	▲894 円	▲3.28%
ザ・2020 ビジョン	14,296 円	▲742 円	▲4.93%
コモンズ 30+しずぎんファンド	11,778 円	▲388 円	▲3.19%

<ご参考>

	2月28日終値	前日比	騰落率
TOPIX(東証一部株価指数)配当込	2305.76	▲87.28	▲3.64%
日経平均株価	21142.96 円	▲805.27 円	▲3.67%
東証マザーズ指数	700.63	▲46.94	▲6.28%

1.本日の市場動向

新型肺炎の世界的な拡大懸念が一段と広がり、27日(木)の米国株式市場で NY ダウ平均は 1,100 ドルを超える大幅下落となりました。

本日の東京株式市場は、安倍首相が全国の小中高校、特別支援学校に臨時休校を要請するなどの対策は打たれるものの、経済への悪影響が広がる懸念され、昨日に続き売りが先行しました。

日経平均は 430 円安で始まった後、中国の上海総合指数や他のアジア株が下げる中、その後も下げ幅を拡大し一時は 1,000 円を超える下落となり 21,000 円を割り込む場面もありました。

2.コモンズ投信代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗 からのメッセージ

皆さん、こんにちは

コモンズ投信 伊井です。

新型肺炎の世界的な広がり、人類に難題を突き付けているようです。

私たち長期投資家は、決して楽観はしていませんが歴史を振り返ると、国難とも言われる出来事は人類の大きな進歩にもつながったことを学んでいます。

終戦後、焼野原となった日本が東洋の奇跡と言われるほどの経済発展を実現できたのは、焼野原になったからこそ更地に新しいインフラ整備が出来たことも要因です。これだけ、道路、鉄道が発達している都市は他にありません。また、東日本大震災後の国をあげての復興は、ベンチャー起業家や社会起業家を多く生み出し、LINE などの SNS の急速な普及にもつながりました。中国でも SARS を契機に E コマースが急速に発達しました。今回の新型肺炎拡大にもなう困難を乗り越えた先には、新しい働き方の定着、遠隔医療や遠隔教育の進展などが実現されていることでしょう。新型肺炎はいずれ収束します。

私たちは、「投資は未来を信じる力」と考えています。目先の社会的な混乱や株価の変調だけを見ていれば不安にな

りますが、少し先の未来を考えてみれば、新しい未来が見えてくることでしょう。私たちの投資は、株価への投資ではなく、企業への投資です。未来は、人が、企業が創っていくものです。いまこそ、未来を信じて投資に力を入れていきましょう。

今月は、株価も下がりましたが「積立金額の増額」も目立ち、株価が下がるほど買い付け件数が増えています。私たちは、こうして託された資金を「コモンズ 30 ファンド」と「ザ・2020 ビジョン」で慎重姿勢を崩さず、丁寧な運用を続けています。「未来を信じる力」で、この難局を一緒に乗り越えて参りましょう！

以上

ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社が指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は 3.3%(消費税込)が上限となっております。
換金時手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	<コモンズ 30 ファンドの場合> ファンドの純資産総額に年 1.078%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。 <ザ・2020 ビジョン、コモンズ 30+しずぎんファンドの場合> ファンドの純資産総額に年 1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ファンドのリスクについて

<p>ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。</p> <p>※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。</p>

ご留意事項

<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。</p> <p>◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2061 号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>
---	---